

# A LIFE **M36** PLANET

Mother Brain  
has  
been alive



# 惑星M36… 息をしている…

「1ミリほどの小さな生命、それは神なのか、悪魔なのか、その生命はもはや誰にも奪うことはできない。例えこの私でさえも。もしかすると私はとんでもないものを作ってしまったのかもしれない……」 ダリル・ウェイツ

## 地球

夜空に浮かぶ宝石のような何千何万の星屑たち……それはまるで生きている様に、あるものは色を変えながら自分達の歴史を刻んでいる。私たちだけの地球だけが歴史の中心ではない。地球だって大宇宙の中にある星屑の1つにしか過ぎないのだ……。

その時、地球では人口増加の問題がいよいよ深刻化し、あと1年後にはもはや地球上だけでは全ての人々が住み切れなくなるという事態が発生していた。政府は宇宙進出の意志

を明らかにし、全世界の天文台では移住可能な星の本格的探索が開始されていた。

世界的にも権威のある日本の科学研究所ピーナスでは数年前から、銀河系の果てにある惑星M-36を移住可能な星として調査を行っており、いよいよ調査も最終段階に入っていた。そして次のような報告書が政府に提出された。

政府はこれを受け、さっそく第一次調査隊の組織化を科学技術庁に指示した。そして数ヶ月後、調査隊は惑星M-36に向け出発した。

## 惑星M36調査結果報告書

- 自然環境は地球と全く同一の為、人類の移住は可能である。
- 5年間の調査期間の間に測定された生命反応は無し。従って、原住生物との問題発生は無いものと思われる。
- 但し、生命があってもおかしくない環境なのに生命反応が無いというのは不自然である。原因不明。

ピーナス科学研究所 M2103-AM  
REP No. 352265

## 第1次調査隊からの連絡

一ヶ月後、惑星M-36に到着した調査隊からつぎつぎと調査結果が送られてきた。

それによると惑星M-36はピーナス研究所の報告書どおり、人類の移住が可能で、又、原住生命は皆無であり全く問題点はないということであった。ところがそれから3日後、

突然調査隊からの連絡が途絶えた。原因は不明。しかし彼らの身に何か起こったことは明らかであった。そしてこの事態を重く見た政府は第2次調査隊の組織を科学技術庁に指示し、彼らの救出、及び何が起こったのかを明らかにするように要請した。

# A LIFE M36 PLANET

Mother Brain  
has  
been  
alive!

## 生命惑星M36

(生きていたマザーブレイン)

### そして惑星M-36へ

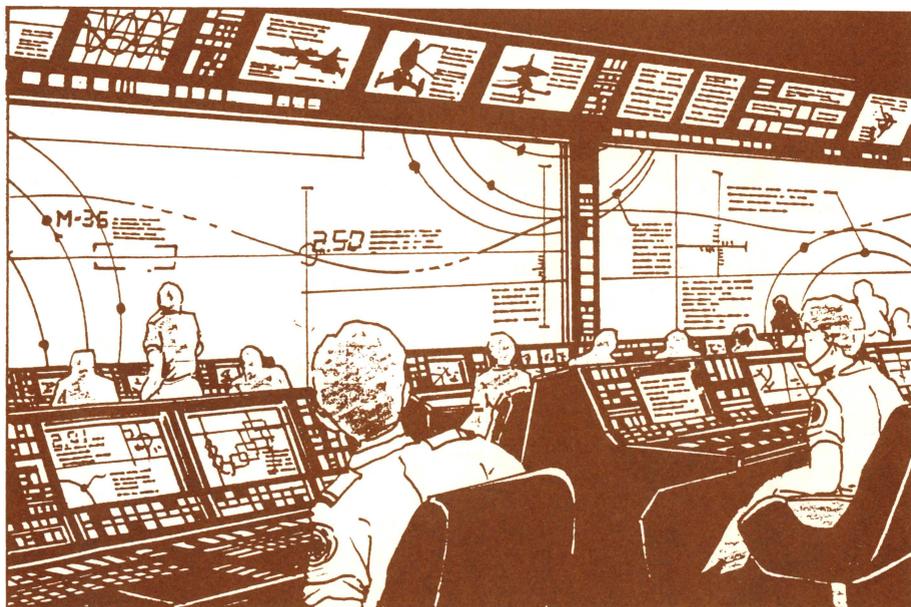
科学技術庁はさっそく第2次調査隊を組織し異状事態究明調査のため、今回の調査隊リーダーとしてビーナス研究所きっての科学者、

“風間リュウ”を抜てきした。そして数日後、彼らは第1次調査隊の無事を祈りながら惑星M-36へと旅だっていた……。

### 惑星M-36

惑星M-36…地上に生命反応はない。しかし荒廃はしているものの建築物らしき残骸や、草木が存在している。では、かつて何らかの生物が住んでいたのか？ そうだとすると

その生物達は どうしてしまったのか？ 何らかの理由で死滅してしまったのであろうか…？ 今やそれを知るものは誰もいない。



■科学技術庁宇宙開発センター中央管制室

惑星M-36…この星は地球が生まれる以前、既に銀河系に存在し、そこに住む生物、環境、その他のものは現在の地球と良く似ていた。そして文化や科学は地球より先行しながら同じような歴史を歩んでいった。今から数百年前、この星では過去の核実験や小規模な核戦争などにより地表の放射能濃度が安全レベルを越えはじめ、人々はその影響で原因不明の病に悩まされ始めていた。人々は核を恐れ、核兵器全面廃止の方向に進み出した。

しかし時は既に遅く、地表に満延した放射

能は衰えを見せず、人々は少しづつ倒れていった。そこで人々は体質改造により、放射能に対して免疫を持たせようと、急拠バイオテクノロジーの研究に乗り出した。各国間競って研究に次ぐ研究が行なわれ、動物実験や、多少危険とわかっていても、人体実験までもが行なわれた。しかし彼れらにはあまりに時間が無き過ぎた。他国で新技術が開発されるとそれを奪い合うようになり、ついにはバイオテクノロジーを駆使した全面戦争にまで発展し、そして惑星M-36は滅亡した。

## そして現在

そしてあの忌わしい出来事から数百年の年月が流れ、地上の放射能濃度は安全レベルにまで下がり、今では草や木なども生きられる様になってきた。しかし地上に生物の姿を見る事はできない。やはり完全に滅亡してしまっただろうか…？

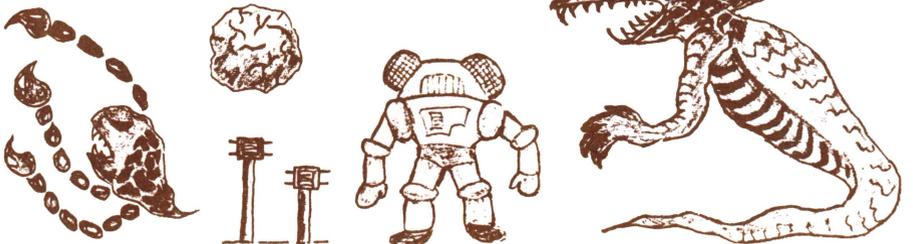
いや、そうではなかった。彼らは運が良かったのか悪かったのかは別として、地上にこそ

住めなかったが地下奥深く生き続けた人々がいた。全面戦争になる直前、ごく一部の人々の子供達は核戦争用につくられた地下シェルターに逃げ込んでいたのであった。彼らは地上から完全に隔離され、成長し、子供を生み、死んでいった。そして、その子供達も又、同じ運命をたどりながら幾世代かが過ぎていった。

## 地下の住人達

惑星M-36にある地下シェルターは全部で8つ。それらはかつてのバイオテクノロジー研究の中心部であったビザン研究所、テローナ研究所、そして今は無きゴードッサ研究所の地下奥深く、及び山の麓の洞窟の中に存在していた。そこに住む人々は数百年前の出来事など知る由もなく、ただ昔からの言い伝えとして、かすかに聞いているに過ぎなかった。そして彼らは各自のシェルターを町や村として開拓し、そこだけが自分達の世界と信じ平

和に生活していた。「地上」というものの存在があるということは知っているのだが、「地上には悪魔が住み、そこに行ったものは二度と帰れない」という古い言い伝えにより誰も行くものはいなかった。そして過去の出来事など全く無縁な、平和に暮らす彼らにも、今、バイオテクノロジー改造により悪魔と化した恐ろしい魔の手が伸びようとしていたのだった。



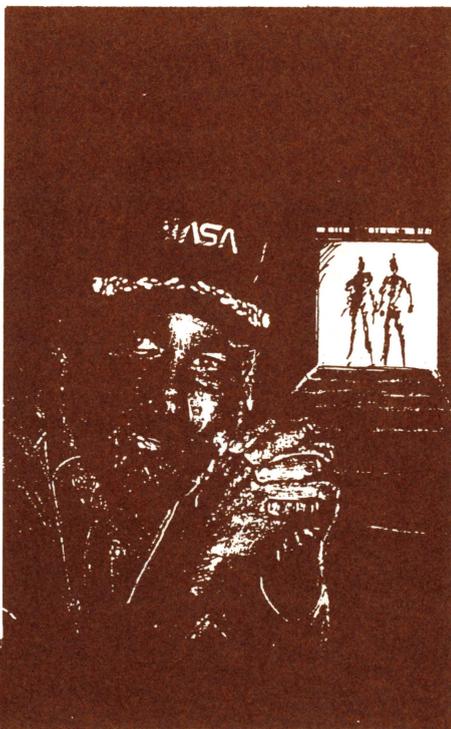
## ゴードッサ研究所

かつてのバイオテクノロジーの研究が盛んだった頃、ゴードッサ研究所はプランクトンのバイオ改造で名を上げていた。所長のダリル博士はキラプシというプランクトンに注目し、これをバイオ改造する事により当時難病とされていた病気を直す新薬の開発に成功していた。そして核の免疫抗体の研究が開始された頃、今までの実績により、全世界はゴードッサ研究所に注目した。ある時、こんな噂が流れた。「ダリル博士はついに核の免疫抗体の開発に成功した。どうやらそれはキラプシと何か新種のプランクトンを結合させたものらしい。」そしてこの噂が報道された時、全世界は狂喜した。しかしそれもつかの間、

博士はすぐに全世界に全面否定の意志を明らかにした。「どこでこんな噂になってしまったのか分らないが、事実無根である。確かに新種のプランクトンを作ることは成功したが、現在は実用段階ではない。実用どころか危険でさえある。従って完成の報道は全面的に否定する」全世界の人々はこの報道を聞き失意の谷に落ちていった。しかしこの報道が逆に博士は既に、完成間近の実験段階に入っていることを証明してしまった。それを他国が見逃すはずはなかった。初めに核の抗対免疫を所有した国が絶対的の優位に立てるのだ。そして極秘のうちに各国からゴードッサ研究所に向け産業スパイが送り込まれていった。

## ダリル博士の死

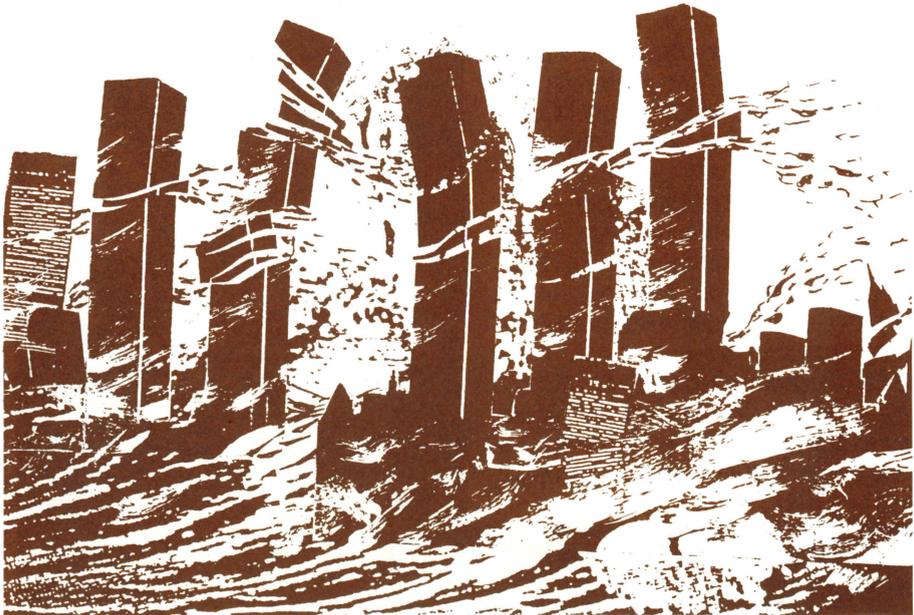
ある夜、数人の人影がゴードッサ研究所に吸い込まれていった。彼らは博士の研究資料及び新種のプランクトンを盗もうとしていたのだ。しかし夜遅くまで研究に没頭していた博士に偶然見つかってしまい彼らは抵抗する博士を止む得ず殺してしまった。だが彼らは遂に研究資料及びプランクトンを見つけることは出来なかった。研究所の隅から隅まで探したが全く研究していた気配すら無かったのだ。博士はいったいどこで研究していたのであろうか。彼らは証拠隠滅のためゴードッサ研究所に火を放ち、博士が死ぬ直前まで書いていた研究日誌を本国に持ち帰った。そして研究所は、全焼し、あとかたもなく、くずれ去っていった。博士の研究日誌の最後のページには次のように書かれていた。「1ミリほどの小さな生命、それは神なのか、悪魔なのか、その生命はもはや誰にも奪うことは出来ない。例えばこの私でさえも。もしかすると私とんでもないものを作ってしまったのかもしれない…」



生きていたマザーブレーン

その後、全面戦争によって世界は滅亡し、現在に至った。そして今この星に住む生命は核シェルターに生活する子供達、そしてもう一つ、一ミリほどの小さな生命体、いや、今では小さな生命体ではない。シェルター内の人々が何世紀もの歴史を歩んだようにこの生命体も確実に歴史を歩んでいたのだった。そして今は無きゴーデッサ研究所の地下奥深くに巨大な頭脳となって静かに息づき、今は亡

きダリル博士の報復のために人類絶滅を企て、次々とプランクトンをバイオ改造し、地上に送り出したのだった。彼は報復のみを考え成長してきた。もはや誰も彼を止めることはできない。…そして惑星M-36は完全滅亡に向けて静かに走り始めた…そして今、地球から風間リュウ率いる第2次調査隊が到着した………。



この度は、当社の製品を御買上げ頂きまして  
たいへん有難うございました。

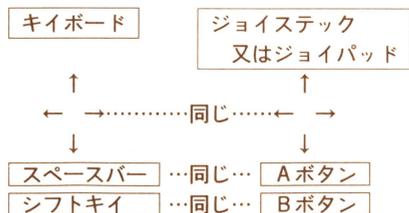
“生命惑星M-36”は  
本格的RPGシナリオによる  
会話進行と完全リアルタイム戦闘とを  
バランス良くまとめた

SFXリアルタイムロールプレイングゲームです  
シナリオ進行のおもしろさと、  
迫力ある戦闘シーンで  
M-36の世界を  
充分にお楽しみ下さい。

## キーボード又は ジョイスティックについて

M-36はキーボード、ジョイスティック、  
ジョイパッドのどれを使用してもプレイする  
事が出来ます。でも戦闘シーンはかなり激し  
い戦いになりますので、出来ればジョイスティ  
ック、ジョイパッドの使用をお勧めします。

キーボードとジョイスティック、ジョイパ  
ッドは、次の様に対応しております。



ここから先の説明はジョイスティック又はジョ  
イパッドで説明しますが、キーボードを使用  
しなくても構いません。

## スタート方法

- ①MSXの電源を切り、カートリッジを差し  
込み、再びMSXの電源を入れてください。
- ②M-36のタイトル画面が表示されますので、  
テレビの明るさ、音量を調整してください。  
又、タイトル画面には **START** **CON  
TINUE** が表示されています。スタートす  
る時は次の様にしてください。

### ■ゲームを最初からスタートしたい時

**↑ ↓** で **START** を選び **Aボタン**  
を押してください。そうするとパスワード  
入力状態になります。ここで **Bボタン** を  
押してください。そうするとパスワードキ  
ャンセルとなりパスワード入力しなくてもゲ  
ームがスタートします。場面はゲーム最初  
からになります。

### ■ゲームをパスワードでスタートしたい時

**↑ ↓** で **START** を選び **Aボタン**  
を押してください。そうするとパスワード  
入力状態になります。パスワードを30文字  
まちがえないように入力してください。ま  
ちがった時は、**↑ ↓ ← →** でまちが  
った所まで行って直してください。入力  
が終了したら **Aボタン** を押してくだ  
さい。そうするとゲームがスタートしま  
す。

- もしデタラメや、まちがったパスワードを  
入力し、**Aボタン** を押した時はエラーと  
なりますのでもういちど正しいパスワード  
を入力してください。

### ●パスワードとは…

ゲームオーバー時、自動的に表示されるも  
ので、それをメモしておき、次にスタート  
する時そのパスワードを入力すると、レ  
ベル・アイテム・場所などが死んだ所から再  
スタート出来るという便利なものです。

- ただしパスワード入力によりスタートする  
時には次の様に状態が少し変化します  
ので注意してください。

- ①再スタート場所はゲームオーバーにな  
った所からではなく、そのエリアの特定  
の場所

からになります。

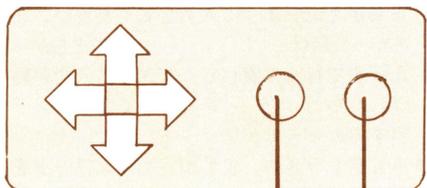
- ②ライフは半分まで補充されます。
- ③お金は半分に減ってしまいます。
- ④その他（何かわかるかな?）

## ■ゲームオーバーになった所からパスワード入力なしでスタートしたい時

↑ ↓ で ■CONTINUE を選び A ボタンを押してください。そうするとさきほどゲームオーバーになった所から再スタート出来ます。

- ただし、再スタートする時は次の様に状態が少し変化しますので注意してください。
- ①再スタート場所はゲームオーバーになった所からではなく、そのエリアの特定の場所からになります。
- ②ライフは半分まで補充されます。
- ③お金は半分に減ってしまいます。
- MSXの電源を切ってしまうと ■CONTINUE しても再スタートとはならず、始めからになってしまいますので、その時はパスワード入力ですべてスタートしてください。

## ■キーボード又はジョイスティックの使い方



Bボタン (シフトキー)      Aボタン (スペースバー)

**移動する時** ←→ で左右に移動出来ます。

**ドアに入る時** ドアの前に立ち ↑ でドアに入ることが出来ます。

**ふせる時** ↓ でふせることが出来ます。

**武器を発射する時** A ボタンを押すと発射出来ます。

**ジャンプする時** B ボタンを押すとジャンプ出来ます。

**アイテムを取る時** 宝箱の所に立ち A ボタンを押すと取れます。

**人から話を聞く時** 人の所に立ち A ボタンを押すとしゃべってくれます。

## ■アイテムを使う時

- ↓ と B ボタンを同時に押すと今持っているアイテムが表示されます。
- 次に ↓ ↑ でアイテムを選びます。
- 次に A ボタンを押すと ■USE, ■DROP と表示されますので ■USE を選び A ボタンを押してください。アイテムが使用されます。■DROP を選ぶとアイテムを捨てる事ができます。不用になったアイテムはこれを使って捨てましょう。
- 又アイテム表示中に B ボタンを押すとキャンセルになりますのでまちがって表示してしまった時などはこれを利用しましょう。

## 遊び方

さあ、おまちかねの遊び方です。

第1次調査隊の無事を祈りながら謎の惑星M36にあなたをリーダーとした第2次調査隊は今、到着した。宇宙船を降りた隊員たちはさっそく調査を開始し、空気成分は地球と全く同じで宇宙服がなくとも生きられる事が判明、隊員たちは次々に重い宇宙服を脱ぎ始めた。あなたはリーダーなので宇宙船の中に一人残りM36無事到着の知らせを地球に送っていた。連絡が終わりあなたは宇宙服のまま宇宙船を降りた瞬間、おそろしい光景が目にとび込んだ。隊員達がもがき苦しんでいる。敵はいない様だ。ではどうして……

バクテリアだった。M36の地上は悪質なバクテリアがうようよしていたのだ。そして隊員たちは全員死んでしまった……幸いあなたは宇宙服を着たままだったのでたすかったのだ。こっ、この星はいい……

あなたは隊員の死をむだ死にはしたくなかった。そしてこの星の謎を明らかにするため1人、あるき出したのだ。

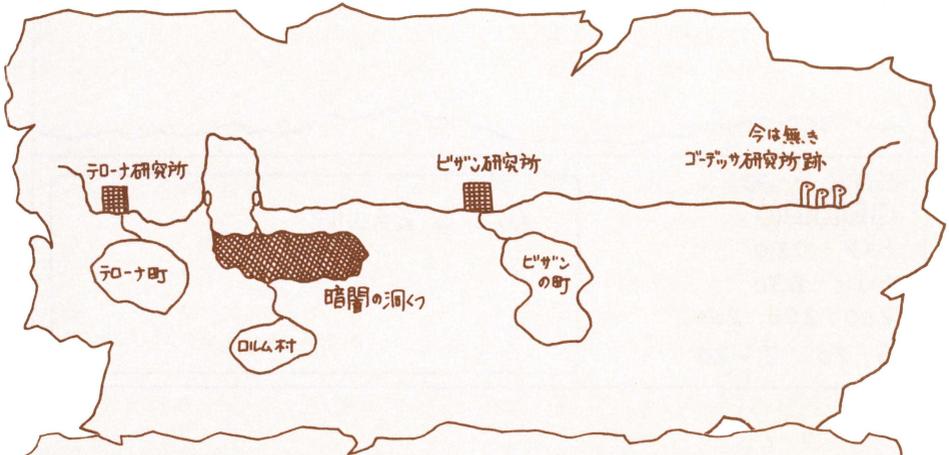
数日後……

あなたは道におちていたカプセルを見つけた。それは何と、第一次調査隊のものだった。

中を開けてみると、そこには地図とメモが入っていた。おそらく彼らは、あとから来る我々に何かを伝えようとしていたのだろう。

あなたはこのメモを読み狂喜した。第一次調査隊はまだ生きているのだ。今、あなたはビザン研究所の近くにいる。中にはバイオ改造された生物がうようよいる事だろう。それらを到し、アイテムを集め謎を解き、そして強くなれ。敵と戦い疲れたり、行きづまった

ら町や村へ行き、人々と話したり、休んだりするのも良いだろう。人々はあなたに交友的だ。しかし、やすらいではばかりもいられない。マザーがこの星を滅ぼすのは時間の問題なのだ。あなたは人々に別れを告げ又、新たな敵と戦う事になるだろう。そしてあなたは最後に巨大な頭脳と化した、マザーブレインと戦う事になるのだ。

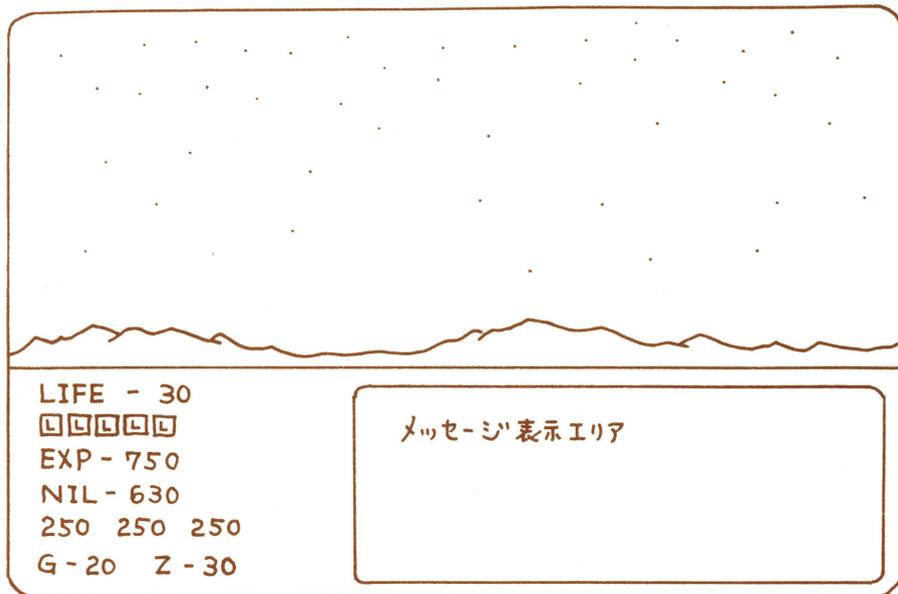


この星を訪れる者へ…

- この星で宇宙服を脱いでほならない。目に見えないバクテリアが地上に存在している。
- 我々が現在までに調べたこの星の地図を同封する。我々も引き続き調査中なのでこの地図はたぶん不完全なものだろう。町や村はもと存在している可能性がある。
- 研究所内部はバイオ改造された生物が多数存在し、非常に危険だ。
- 最近では地上にも生物が出没する様になった。いよいよマザーが目覚める時が近づいている様だ。
- 悪性生物達はまだ町や村には来て来ない様だ。しかし、いつくるか不安だ。町や村の人々は我々に交友的だ。信用していい。
- 我々はこれからもう一度、ビザン、テロナ、ゴテッサの順で調査して行くつもりだ。
- くれぐれも気を付けてくれ。この星の生物をあまく見てはいけない。

第一次調査隊

画面説明



**LIFE-30**……プレイヤーの生命力です。□はLIFE-30の大きな単位です。LIFEがたくさんある時は□の中が赤くなっています。□が全て黒くなり、LIFEが0になるとプレイヤーが死んでしまいます。

**EXP**……プレイヤーの経験値です。敵と戦う事により数が少なくなってゆきます。そして0になると生命力の□が1つ増えます。

**NIL**……プレイヤーが持っているお金です。  
**250 250 250** ……左側の数字は、プレイヤーがレーザーなどの武器を持った時のエネルギー量です。0になるとレーザーなどの武器は使えなくなります。中央の数字はオプション-1を持った時のエネルギー量です。0になると使えなくなります。右側の数字はオプション-2を持つ

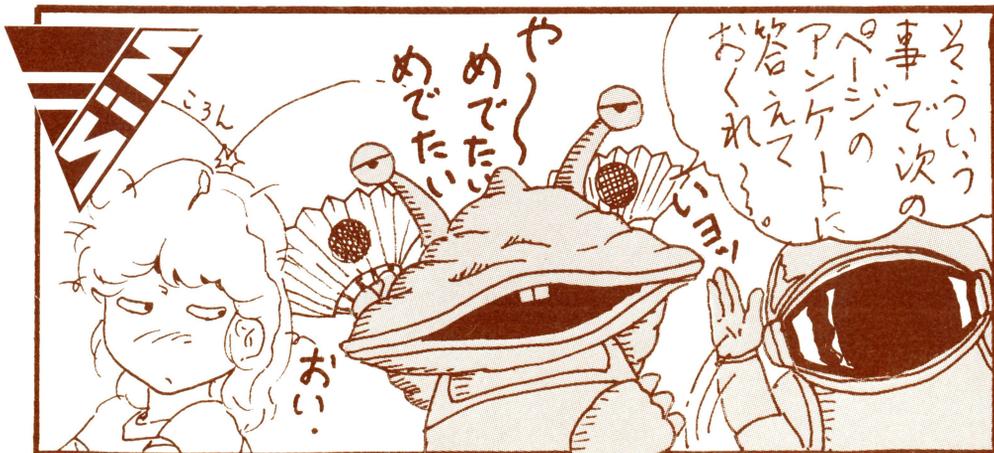
時のエネルギー量です。0になると使えなくなります。

**G-20**……ギウスを倒すとギウスはプランクトンになり、あなたは持ってゆく事が出来ます。ただし、プランクトンは時間とともに弱ってしまいます。これはギウスのプランクトンの生命力も表します。生命力が0にならないうちにプランクトンの病院で生命力を回復してあげてください。

**Z-30**……ゼウダを倒すとゼウダはプランクトンになり、あなたは持ってゆく事が出来ます。これはゼウダの生命力であとはギウスと同じです。

**メッセージ**……町や村の人々が話してくれる時、**ジエリア** ここに表示されます。話が多く表示きれない時は下の方に▼のマークが出ます。(A)ボタンを押すとス





次回作としましては、今迄にない最く新しいゲームシステムで、ピラミッドを舞台に展開するRPGを企画、開発中ですのでお楽しみにして下さい。

(フリガナ)			
〒□□□-□□			
ご住所			
(フリガナ)			電話
お名前			( ) -
明治 大正 昭和	□□	年生まれ ( )才	1.男 2.女 お勤め先 学校名
ご購入年月日 昭和 年 月 日			
ショップ名 ( )			

※会員登録の際、必要となりますので必ずご記入下さい。

- ①現在お持ちの機種名 ( )
- ②このゲームを何によってお知りになりました？  
 a. 店頭ではじめてみて b. カタログポスターを見て  
 c. 知人から聞いて d. 雑誌の広告で (誌名: )  
 e. 新聞・雑誌の記事で (紙誌名: )  
 f. ショップですすめられて g. その他 ( )
- ③よく読むコンピュータ誌は？  
 ( ) ( ) ( )
- ④最近、特に面白かったマンガ、本、テレビ、映画、演劇は？  
 ( ) ( ) ( )
- ⑤ゲームの内容について  
 やさしい +2・+1・0・+1・+2 難しい  
 ※どんな所が ( )  
 面白い +2・+1・0・+1・+2 つまらない  
 ※どんな所が ( )
- ⑥マニュアルについて  
 解りやすい +2・+1・0・+1・+2 解りにくい  
 ※解りにくかった所は？ ( )
- ⑦このゲームをプレイして、ここをこうした方が  
 もっと良かった…といった意見があれば、ぜひ  
 お書きください。

- ⑧ゲームソフトは何本ぐらいお持ちですか？  
 テープ ( ) 本、ディスク ( ) 本  
 カートリッジ ( ) 本、  
 メガロムカートリッジ ( ) 本
- ⑨このゲームの他にピクセルのゲームはお持ちですか？ (ゲーム名記入)  
 ( )
- ⑩お持ちのゲームの中で面白いと思ったものを上げて下さい。( ) ( )
- ⑪今後どういったゲームを作って欲しいですか？
- 
- ⑫ピクセルでは独自の広告作りをしています、この「生命惑星M-36」の広告についての感想をお願いします。  
 ( )
- ⑬このパッケージデザインについてのご感想をお願いします。  
 ( )
- ⑭ピクセルへのメッセージをお願いします。  
 ( )

イラストやご意見、ご希望またゲームのシナリオ等がありましたら、一緒に封筒に入れて送ってください。



株式会社ビクセル